

第1章

「旧石器・縄文時代・アイヌ関連」

下枝 広明

■新・旧石器遺跡方位ライン.....	(2)
■新・縄文遺跡方位ライン（北海道）.....	(10)
■縄文・アイヌ遺跡方位ライン.....	(12)
■縄文遺跡ライン（札幌近郊）.....	(13)
■チャシ方位ライン（札幌近郊）.....	(15)
■二風谷遺跡とチャシ伝承.....	(17)
■アイヌ・蝦夷の起源.....	(20)
■アイヌ神話と中国・中東の古代神話.....	(25)
■アイヌ習俗の起源.....	(32)
■アラハバキ神社方位ライン（東日本）.....	(34)
■アラハバキ神社方位ライン（全国）.....	(38)

◆概要

本章では、旧石器時代、縄文時代の歴史を探求するとともに、アイヌ文化へそれらがどのように継承されていったかについても考えてみたい。

なお、本報告で掲載した方位ライン地図（いつも NAVI、グーグルマップ等使用）については付録の DVD 内にそのカラー地図および説明動画を収録し、あわせて、カラーPDF 版の本会報も付録しておくので、よろしくご参照されたい。

第2章 「弥生時代関連」

下枝 広明

■弥生・続縄文遺跡方位ライン（北海道・東北）	(43)
■弥生遺跡方位ライン（全国）	(45)
■新・神籠石方位ライン.....	(47)
■日田の古墳状地形群	(50)
■古墳状地形方位ライン（九州）	(54)
■伊川（大日寺）の古墳状地形.....	(56)
■古墳状地形・神籠石方位ライン（九州）	(61)
■神籠石・山城方位ライン（九州）	(64)
■山城方位ライン（全国）	(64)
■高地性集落方位ライン.....	(69)

◆概要

本章では、弥生時代における遺跡・神籠石・山城・高地性集落を結ぶ方位ラインの存在をあきらかにし、そこから初期古墳とのつながりを考察し、また弥生人の渡来から全国展開（北海道含む）についてを論じてみたい。

第3章 「邪馬台国関連」

下枝 広明

■卑弥呼の都と宮殿	(74)
■豊姫神社方位ライン	(78)
■三井伝承と鏡	(82)
■台与の系譜	(84)
■台与の伝承	(91)
■卑弥呼の弟、男王	(94)
■台与の東遷	(99)
■卑弥呼・台与の子孫	(101)
■卑弥呼以前の男王系譜	(103)
■欠史天皇と卑弥呼	(105)
■大宰府羅城と邪馬台国	(111)
■倭人伝の官職・称号	(112)
■邪馬台国東遷説	(116)
■尺貫法と倭人伝	(119)

◆概要

本章では、「邪馬台国」の在処について、多角的な視点から迫ってみたい。

第4章

「古墳時代（前期）関連」

下枝 広明

■新・纏向古墳群方位ライン.....	(123)
■新・纏向型前方後円墳方位ライン（全国）.....	(128)
■三輪方位ライン.....	(134)
■奈良東南部古墳方位ライン.....	(135)
■倭迹迹日百襲姫命について.....	(139)
■欠史天皇宮方位ライン.....	(143)
■欠史天皇宮+陵墓方位ライン.....	(147)
■新・奈良都城區画.....	(154)
■呉年号銘鏡・金印方位ライン.....	(159)
■呉年号鏡・金印・四道將軍・箸墓方位ライン.....	(162)
■呉軍との関連.....	(166)
■黄巾軍について.....	(169)
■前期前方後円墳方位ライン.....	(172)
■南方航海民方位ライン.....	(174)
■画紋帯神獸鏡方位ライン.....	(182)
■続・奈良方位區画.....	(186)

◆概要

本章では、主に古墳時代前期（3～4世紀）にかけての古墳や宮都等について、方位ライン分析を行い、天皇家の出現から全国展開までの動きをあきらかにしてみたい。

第5章

「古墳時代（後期）関連」

下枝 広明

- 日本書紀を読み解く（応神紀） (189)
- 日本書紀を読み解く（仁徳紀） (215)
- 百舌鳥・古市古墳群の陵墓・宮の位置・古墳軸の向き (220)
- 出雲・吉備・河内王朝・伊雑宮ライン (229)
- 住吉・出雲・熱田・鹿島社ライン (230)
- 住吉社・応神陵・軽島豊明宮・鹿島神宮ライン (233)
- 関東屯倉・国府方位ライン (239)

◆概要

本章では、主に古墳時代後期（4世紀～6世紀）にかけての古墳や宮都・社寺・屯倉・国府等を結ぶ方位ライン分析から、そこに関わった集団を特定し、特に文献史学も活用しながら、渡来人の動きについて追ってみたい。

第6章

「飛鳥・白鳳・奈良時代関連」

下枝 広明

■日高・国見山方位ラインと日本号	(247)
■斉明天皇行幸ライン	(258)
■朝倉橘広庭宮の位置	(261)
■中大兄皇子帰路の分析	(266)
■朝倉方位ライン	(269)
■八角埴方位ライン（西日本）	(271)

◆概要

本章では、飛鳥・白鳳・奈良時代初期における皇族の行動分析、特に斉明天皇・中大兄皇子に関する動きを、多角的な視点で分析し、当時の皇室領や国家支配の在り方、日本号の成立の経緯について考えてみたい。

第7章

「中世・近代史関連」

下枝 広明

■城郭・都市方位ライン.....	(273)
■南朝・竹内文書.....	(276)
■田村氏と南朝.....	(280)
■竹内文書と南朝後胤.....	(291)
■竹内文書の起源.....	(293)
■神武東征・三種の神器.....	(297)

◆概要

本章では、中世・近世における城郭・都市構築の在り方について方位ライン面で分析するとともに、特に南朝と三種の神器の在処についても考えてみたい。

第8章

「神社・氏族関連」

下枝 広明

■物部氏の東遷	(308)
■新・前方後方墳方位ライン	(316)
■菰野（三保山）方位ライン	(319)
■出雲大社・鹿島神宮・伊勢神宮方位ライン	(320)
■鹿島・伊勢・浅間社ラインと方位測量の変遷	(321)
■秦氏方位ライン	(323)
■新漢人・継体関連の方位ライン	(325)
■夔鳳鏡と東漢氏の故地	(326)
■夔鳳鏡とシルクロード交易路	(342)
■シルクロード・ステップルート方位ライン	(344)

◆概要

本章では、出雲大社、伊勢神宮、鹿島神宮等の寺社に関する方位ライン分析を行うとともに、物部氏、秦氏、新漢氏、東漢氏の出自や全国展開、シルクロード等の大陸間交易の在り方等についても考えてみたい。

第9章

「古代中国・朝鮮関連」

下枝 広明

- 続・中国方位ライン(347)
- 円筒土器文化・遼河文明方位ライン(356)
- 新・支石墓方位ライン(359)
- 曹氏と東漢氏(364)
- 広開土王碑の欠字解釈(373)

◆概要

本章では、中国大陸、朝鮮半島における古代文明・文化的・人的な動き、特に古代日本との関わりについて、方位ライン面から明らかにしてみたい。そして、東漢氏の故地、祖先の出自についても、大陸方面を視野に入れて解明する。

第10章

「遺伝子・言語関連」

下枝 広明

■Y染色体DNAハプロタイプと言語系統.....	(377)
■ミトコンドリアDNAハプロタイプと言語系統.....	(378)
■白狄の系譜.....	(380)
■チベット・ビルマ語族・百越のハプロタイプ.....	(387)
■北燕遺民と新漢人.....	(393)
■弥生人・渡来人とO-F438系統.....	(397)
■サカ・月氏の起源.....	(399)
■匈奴と月氏のハプロ.....	(403)
■サカ・月氏と日本人のHLAハプロタイプ.....	(407)
■ヘブライ人の拡散.....	(409)
■アイヌ語と日本語起源.....	(426)

◆概要

本章ではDNAハプロタイプ分析を通して、日本人やアジアの諸民族の起源や移動経路、さらには、氏族単位での推定に至るまで、その言語系統の解析とあわせて行ってみたい。

第 1 1 章

「隕石関連」

下枝 広明

- クレーターライン（道東） (431)
- 彗星群接近と卑弥呼の時代 (434)
- 札幌の油田と隕石落下 (436)
- 世界油田ライン (439)

◆概要

以前会報第7号で考察した小天体の地球への接近によってもたらされた隕石落下とそれにもなうクレーターのライン分析の追加考察を行い、特に北海道の地形の成り立ちや、世界の油田との関わりについて、邪馬台国・卑弥呼の時代前後における隕石落下の可能性とその影響について論じてみたい。

第12章

「邪馬台国関連・追補論考」

下枝 広明

■神籠石・グスクと邪馬台国.....	(444)
■邪馬台国徳之島説.....	(451)
■邪馬台国四国・中国説.....	(452)
■幣立神宮方位ライン.....	(457)
■神籠石・弥生遺跡（九州）方位ライン.....	(460)
■夷州・亶州関連.....	(462)
■魏志倭人伝諸国の位置推定.....	(467)
■山門・大和ライン.....	(474)
■山門・山戸ライン.....	(477)
■魏志倭人伝諸国の位置推定2.....	(480)
■三角縁神獸鏡方位ライン（九州）.....	(487)
■三角縁神獸鏡方位ライン（全国）.....	(491)
■三角縁・画紋帯神獸（記年銘）鏡方位ライン.....	(498)
■狗邪韓国と三角縁神獸鏡.....	(504)
■日韓方格規矩鏡比較.....	(506)
■三角縁神獸鏡の紋様分析.....	(508)
■三角縁神獸鏡の鉛同位体比分析.....	(513)
■弥生末～古墳初期の銅鏡ライン.....	(515)
■日韓方格規矩鏡ライン.....	(517)
■平塚川添遺跡⇄宇土ライン.....	(523)
■和爾氏と卑弥呼と邪馬台国.....	(526)
■日向と邪馬台国.....	(531)
■邪馬台国（九州）方位ライン.....	(536)